

通信制高校と 起業家コース

有志有志会 の塾 良習 奈学

【奈良】同立有志会(奈良県大和郡山市、中村尊裕代表、0743・54・1185)は、通信制高校の相生学院高校(兵庫県相生市)と提携し「相生学院高校奈良校」(奈良県大和郡山市)を4月に開校する。起業家コースとソーシャル・インベーショコースを設ける。通信制高校の特色を生かし起業家コースでは、3年間で合計1年間は製造業やサービス業など中小企業で職業研修し、就職や大学への進学に役立てる。

通信制高校は決められ、通信制高校の特別活動をした日数のスクーリングが、研修にあてる。研修期間あるが、奈良校では全日、1年生2カ月、2年生制高校と同様に通学させ、4カ月、3年生は6カ月。生活習慣を身につけさせ、研修を踏まえ卒業に。学生の職業研修先は、あたるレポートを作成し、研修先の企業の前で発表する。簿記や英検2級

中小60社が研修協力

級の取得なども支援する。ソーション・インベーショコースでは、学生主体でイベントを企画運営し、新しい住民と昔から住む人との交流など地域活動に関わり、地域の課題解決に挑戦する。学費は授業料25万円とサポート料36万円を合わせ年間61万円。定員は10人で、少数精鋭の通信制高校を目指す。同社は奈良県地場の中学習塾。

立地助成申請 伸び顕著

広島県の企業立地促進助成制度への申請が2010年度の6件から11年度29件へと大きく増えている。県は先端・成長分野では機械設備のみ更新も助成対象とするなどの同制度の見直しによる効果と分析する。申請時の設備投資総額は約815億円、雇用総人員は約6000人を見込んでおり、県内経済や地域活性化に寄与するを期待している。

広島県 対象拡充が功奏

の計画総投資額116億円に対し、11年度は21件、787億円と大幅に増加した。このうち、先端・成長産業集積が9件、657億円になり、投資額は83.5%を占めている。また12月に新設した産業競争力強化促進助成には8件の申請があり、総投資額は28億円となっている。11年度から先端・成長産業集積助成を新設し、県営産業団地立地助成を拡充した。特に先端産業では、建物の新設をしない機械設備更新のみも対象にした。「床面積の要件をはずした効果大きい」(商工労働局)と申請の増大を分析している。県は12年度予算に前年度比15億円増の36億6000万円を計上し、28件(10年度申請分も含む)を助成する。また先端の対象業種に医療・健康、環境浄化を追加して、先端分野の集積を促進する。助成額が予算を超過する場合には、補正予算で対応する方針。(広島)

進出 進む空洞化、対策急務

耐熱鋳造部品を手がける日光金属(矢板市)は、6月までに中国、タイへ海外初となる営業拠点を設立する。取引先で

経営革新計画 承認

埼玉県は中小企業新事業活動促進法に基づき、経営革新計画を承認した。非公表企業を除く承認企業とテーマは次の通り(3回目は25件掲載)。

- ▽ジュンカン(伊奈町) 生ごみ発酵促進材(Jバイオパウダー)の動物飼料添加物への転用
- ▽本陣・ばんや・A-1(秩父市) レトロな店舗への改装と新たな販売促進戦略の展開
- ▽顧客需要の創造による売上増加
- ▽天恵ジャパン(蓮田)

2月の業況D-1 前回比2.6%悪化

千葉会議所調べ 【千葉】千葉商工会議所がまとめた2月の景気動向調査によると、業況判断DI(「良い」と「悪い」の割合から「悪い」と答えた割合を引いた値)は全産業で35.0となり、2011年11月の前

市) 新タイプの海草食品「海の宝石」の食品メーカーとのOEM事業の展開

リエーション(春日部) エーテニスを通じて、子どもたちの自信が養成されるプログラムの開発

▽古浦産業(本庄市) 「付加価値の高い遮熱コート」を中心とした環境工事事業の展開と取引先従業員への販路開拓

▽ケミカ(鴻巣市) 血糖値改善をサポートするためのオリジナル商品の開発・販売

▽デリカテッセン・アーチャン(狭山市) 食肉卸売業によるラーメン店の開業

▽多角化(倉林畜産) 狭山市) 食肉卸売業によるラーメン店の開業

角化) 三代目角化(わ町) 高輪配当事業の確立

ライ(熊谷市) 照明販売代理店

▽品川通信工(エアルム) 開発・販売

▽ファルマ(飯能) 物困難地域に活用し、買取り

ユの育成事業(久喜市) 独身女性をターゲットとしたカットと提供

▽フロン(美里町) ツットを活用したアドフラーの

神様のお引越しを記念

伊勢神宮(三重) 同伊勢市) 計外

今後の県経済活性化については農水産物の輸出拡大や観光振興が力ギになるとしており、同会議所も積極的に後押ししていく方針を示した。

同調査は2月10-28日に法人会員事業所に実施し78.3%の389社から回答を得た。

大分県溶接技術競技会
最優秀賞に
工藤さんら

【大分】大分県と大分県溶接協会(大分市)は、2011年12月に実施した「11年度接技術競技会」で、賞者を決めた。部は太平洋工業(同)の工藤半自動溶接の船大分事業所が最優秀賞を受賞。入賞者5人、細川で開かれ